

ウォシュレット使用時の確認

TOTOウォシュレット付きトイレで使用する場合は、便座、便ふたを開けた状態でもウォシュレットが使えるようにするためにウォシュレットの種類によっては以下の「水まわり用車いす使用モード」の初期設定が必要です。下記手順にて設定ください。

〈水まわり用車いす使用モードの初期設定が必要なウォシュレット・ウォシュレット一体形便器〉
【ウォシュレット】

- ・ウォシュレット アプリコット・ウォシュレット S1、S2 (TCF6121、6131)
- ・ウォシュレットSB、SC (TCF6210、6211、6220、6221) ウォシュレットAR (TCF4631) など

※ウォシュレット アプリコット (TCF4010、4011、4020、4021、4030、4031) は専用部品が必要となります。
TOTOメンテナンスにご相談ください。

【ウォシュレット一体形便器】

- ・ネオレスト・Z (CES9032、9042、9052、9053、9062、9063、9082、9083、9092、9093)
- ・ZMR (CES931、932)・GG (CES9411、9421、9431)など

この設定を行わないと、水まわり用車いすでトイレを使用するときウォシュレットが作動しません。

水まわり用車いす使用前の初期設定（水まわり用車いす使用モード）

〈操作手順〉

- ①リモコン（リモコンなしタイプの場合は本体操作部）の「止」スイッチを10秒間押し続けてください。
表示部が全点滅します。
全点滅したら「止」スイッチを離して次の操作を行ってください。
- ②設定モード中（点滅中）に「ビデ」スイッチを5秒間押し続けてください。
- ③もう一度、「止」スイッチを押してください。

（※もう一度、上記操作手順を繰り返すと元の状態になります。）

※着座スイッチ式ウォシュレットの場合、オート閉機能が使えなくなります。

※着座スイッチ式ウォシュレットの場合、車いすの位置や動作によっては、センサーが働き、オート洗淨が作動する場合があります。

（ウォシュレットをご使用前に着座モードにする または、オート洗淨を「切」にしてください。）

ウォシュレットの使いかた

着座スイッチ式ウォシュレットの場合（着座モード）

車いすをトイレの奥までセットし、以下の要領で着座モードにしてください。（ご使用の都度、操作ください）
着座モード設定後は、通常のウォシュレット操作要領でおしり洗浄などご使用になれます。

リモコンの場合

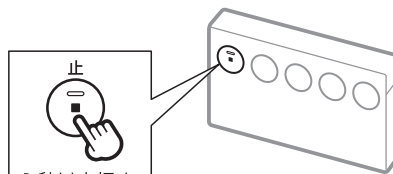
「止」スイッチを1秒以上押す

「ピッ」という電子音が鳴り、着座モードになります。

リモコンで「おしり洗浄」スイッチなどが使えるようになります。

着座モードは最後のスイッチ操作から**約5分後**に「ピーッ」という電子音が鳴り解除されます。

※解除後も引き続きご使用される場合は、再度「止」スイッチを1秒以上押して着座モードにしてください。



※スイッチの配置や形状は異なる場合があります。

らくらくリモコンをお使いのかたへ

・着座モードにするときは、標準リモコンで操作してください。

ウォシュレット本体操作部の場合

「止」スイッチを1秒以上押す

ウォシュレット本体操作部の水勢ランプが現在設定されている位置で点灯します。

ウォシュレット本体操作部で「おしり洗浄」スイッチなどが使えるようになります。

着座モードは最後のスイッチ操作から**約5分後**に水勢ランプが消灯し解除されます。

※解除後も引き続きご使用される場合は、再度「止」スイッチを1秒以上押して着座モードにしてください。



※スイッチの配置や形状は異なる場合があります。

ご注意

着座モード中におしり洗浄などのスイッチを押すと、便座に座らないときでもノズルから洗浄水が出ます。

上の操作により着座モードにした場合は、下記の機能は使えません。

- ・オート閉機能 ・オート洗浄機能
- ・オートパワー脱臭機能 ・リモコン操作での便座・便ふた閉機能

※機種によっては、この機能がない場合があります。